
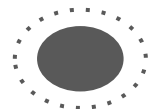
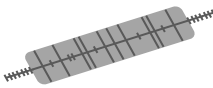
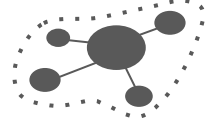
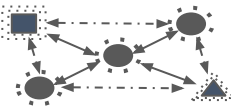


2022/10/04

# Society 5.0時代の瑞浪市を考える

森ビル株式会社 矢部俊男

## Society 5.0の時代とは？

	Society 1.0	Society 2.0	Society 3.0	Society 4.0	Society 5.0
社会	狩猟社会	農耕社会	工業社会	情報社会	超スマート社会
生産技術	捕獲・採集	手工業	機械化	情報通信	サイバー空間と フィジカル空間の 融合
マテリアル	石・土	金属	プラスチック	半導体	Material 5.0
交通	徒歩	牛・馬	自動車・船 ・飛行機	マルチモビリティ	自動運転
都市 (集合) 形態モデル	移動/集落 	城郭都市 	線形(工業)都市 	ネットワーク都市 	自立分散都市 
都市理念	Viability 生存性	Defensiveness 防御性	Functionality 機能性	Profitability 経済効率性	Humanity 人間性

# 超スマート社会って何？

## フィジカル空間とサイバー空間

フィジカル空間とは、現実での出来事。

サイバー空間とはコンピューターの中。

現実空間での出来事をIoTを使って取り込みコンピュータの中で分析して現実世界に戻す。これがデジタルツイン。

## material 5.0とは？

まだ定義のない曖昧な素材。

- ・海外に依存しない素材
- ・環境負荷の少ない素材
- ・高度なデバイス(AIチップ)
- ・極限機能をもつ素材
- ・複合材

## 自動運転

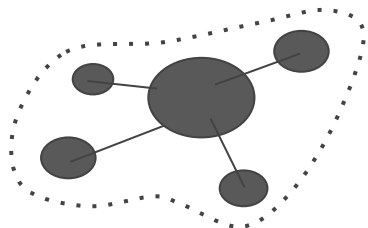
- ・レベル3 条件付き自動運転
- ・レベル4 特定条件下における自動運転
- ・レベル5 完全自動運転

2025年を目処に高速道路では完全自動運転になる。

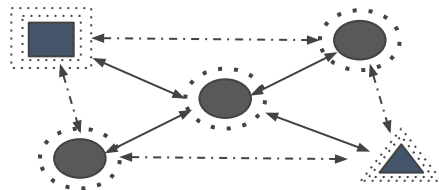
(中央道は資産)

# 自立分散都市とは？

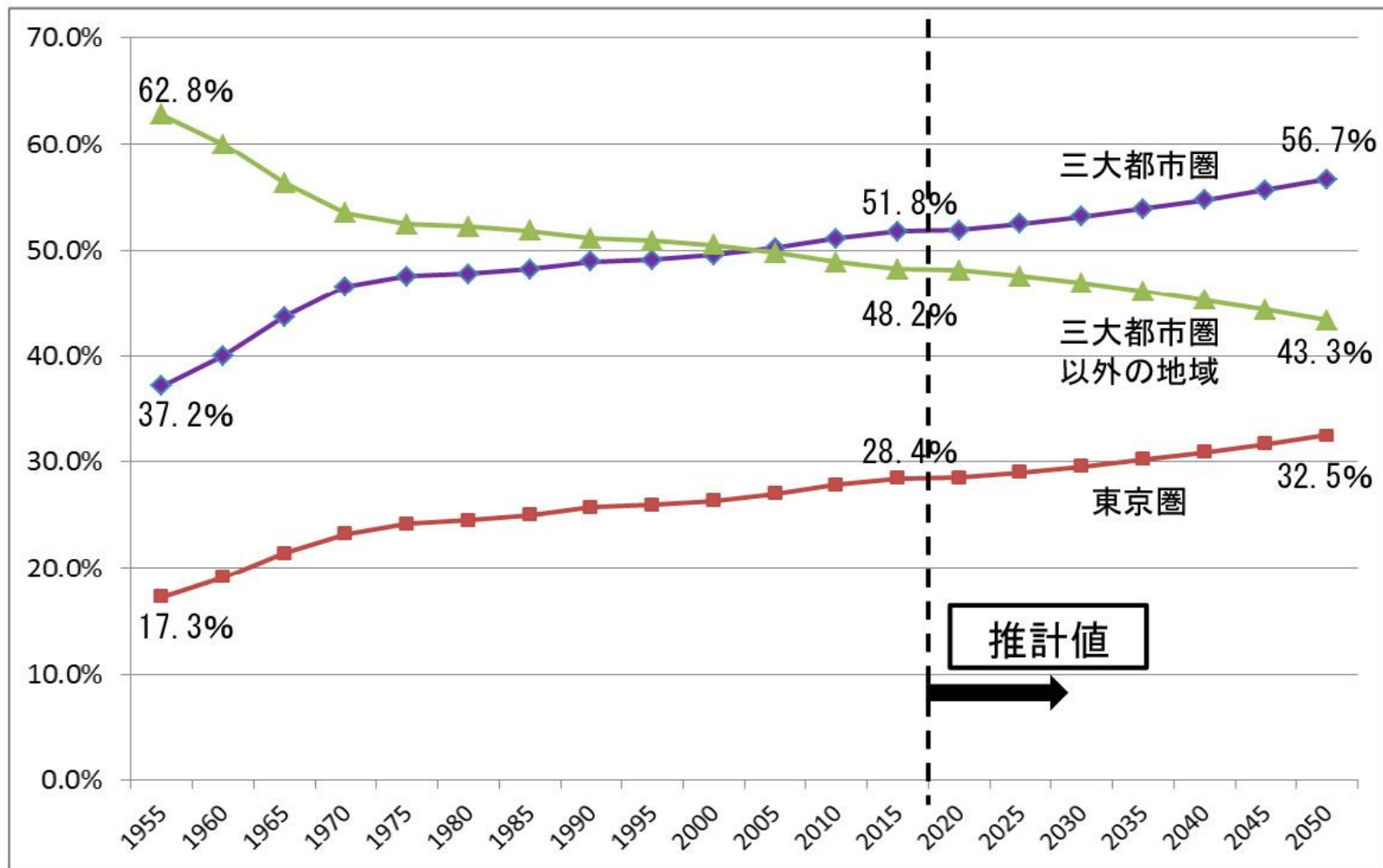
ネットワーク都市



ネットワーク都市



日本は、産業革命以降 都市部に人口が集中し発展してきた。Society4.0の時代になると東京圏への集中がはじまった。





[内閣府作成]

※Society5.0 :サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会(Society)で、狩猟社会(Society1.0)、農耕社会(Society2.0)、工業社会(Society3.0)、情報社会(Society4.0)に続く、新たな社会。[内閣府]

# Society 5.0時代の瑞浪市を考える

## 瑞浪駅周辺の活性化

老朽化、陳腐化による衰退がみられるが、絶対に廃止にならない鉄道幹線に駅を持つことは、幸運である。鉄道は環境面でも必須アイテムである。駅周辺の活性化には夜間人口の確保と滞留機能、目的機能を儲ける。

## 人口減少

人口減少が課題ではなく就労人口の減少が課題である。対策には女性が働きやすく、生活が出来るまちづくりをすることが近道である。

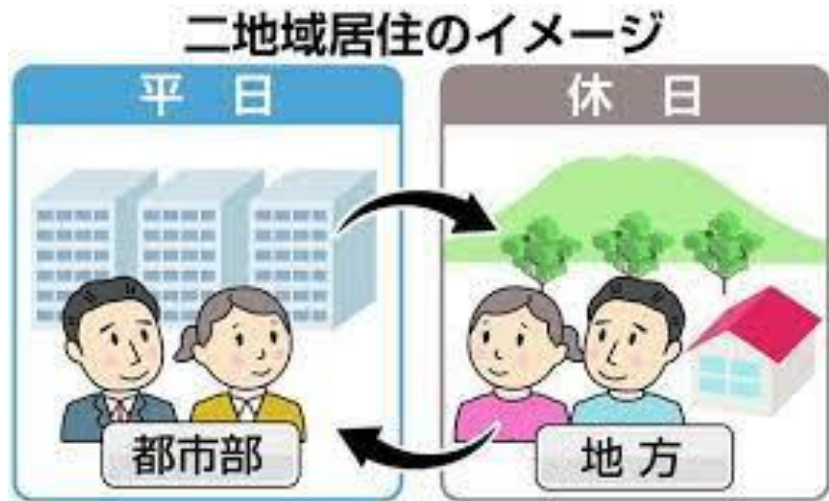
## 産業の衰退

**Society 5.0**の時代に生まれる「しごと」は何か？について研究と勉強が必要。瑞浪の地政学的な優位性を見つけてロードマップを作る。

例えば？どんな優位性がある？



## 二拠点居住者の地域における貢献



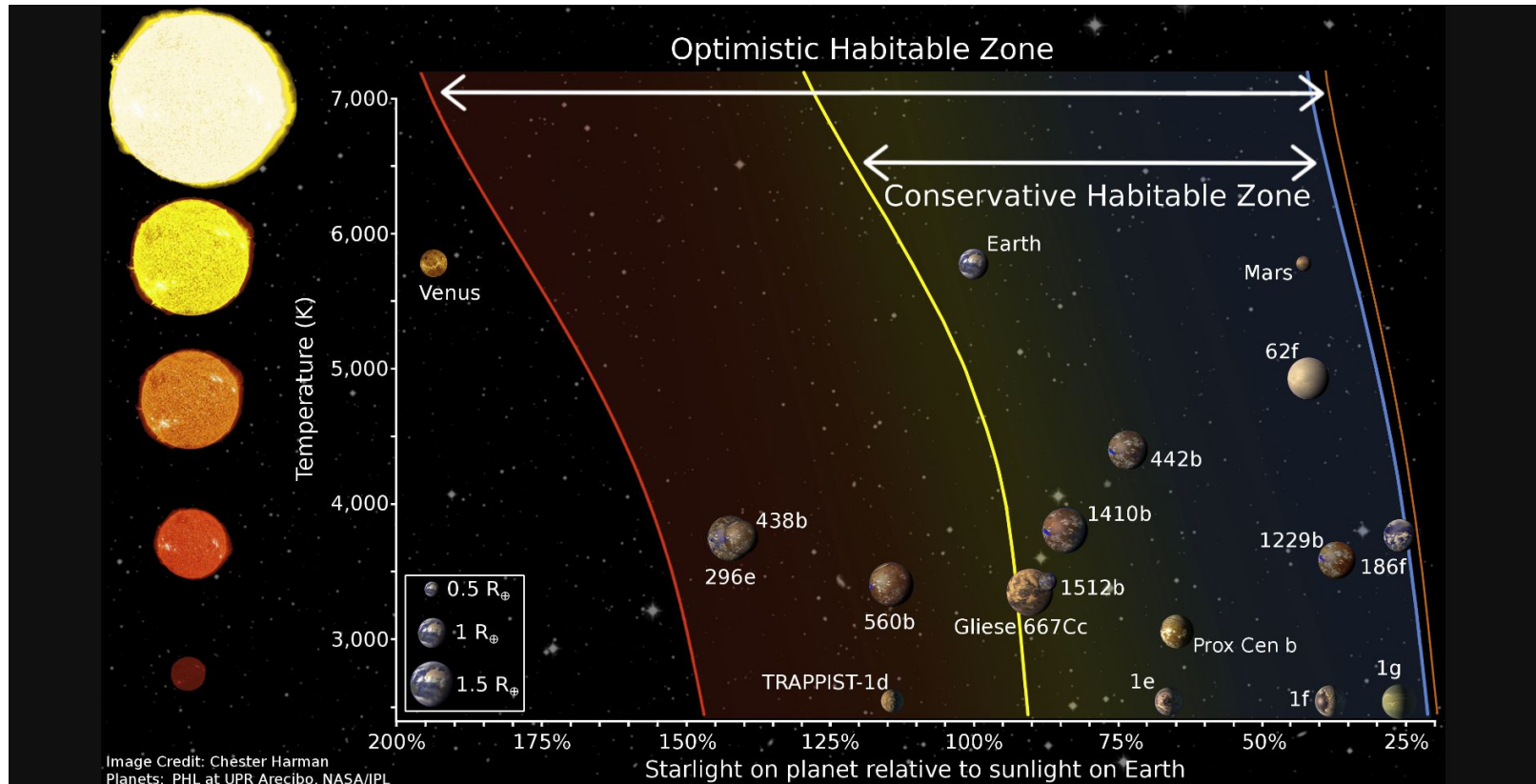
二拠点居住が関係人口を構築し都会のPowerPersonを集められる

しかし、瑞浪は、二拠点居住の適地ではない。

瑞浪市が発信する新しいライフスタイル

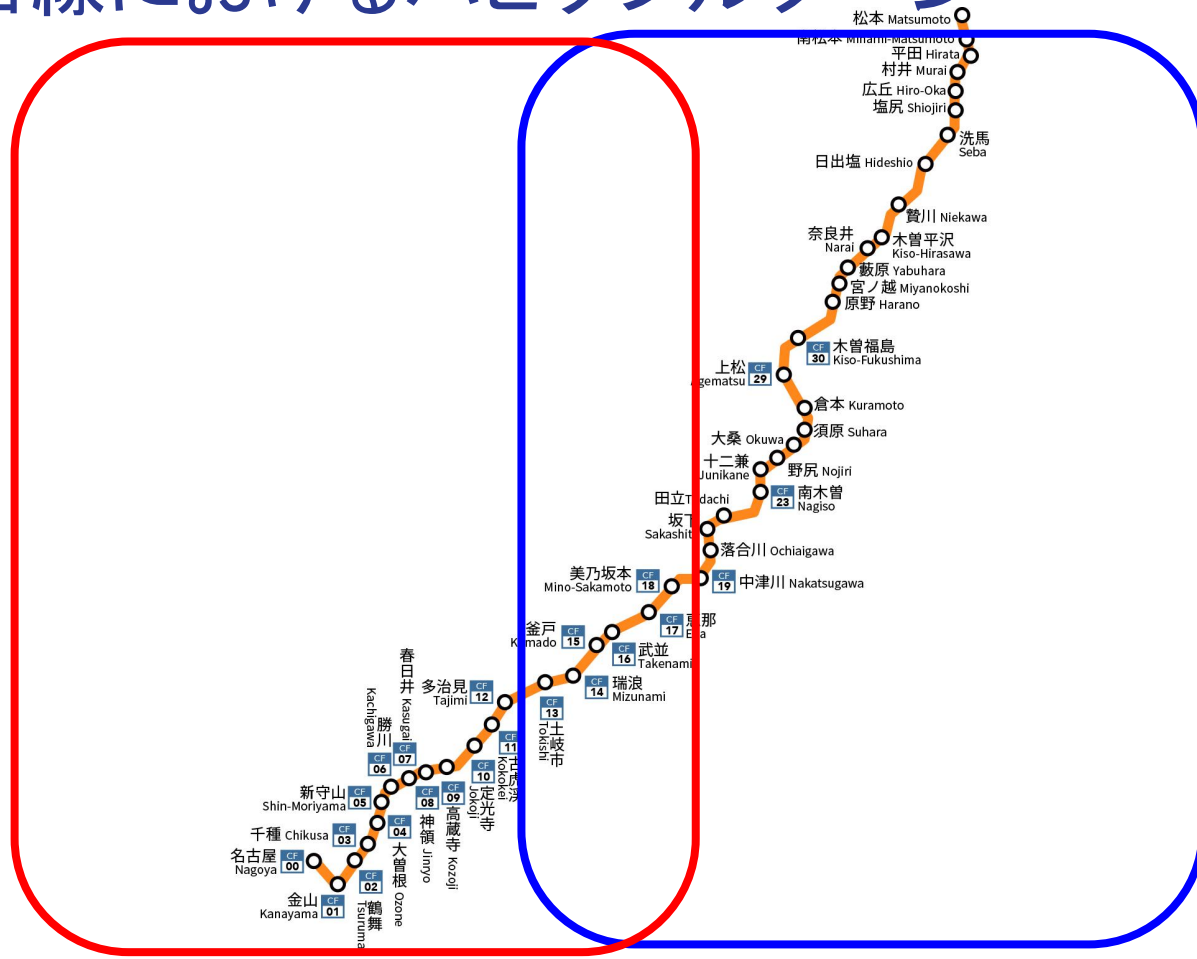
**目指せハビタブルタウン！**

# ハビタブルゾーンってご存知ですか？



主星と辺境の星との間にある水が液体で存在できる場所です。

# 中央西線におけるハビタブルゾーン



皆さんにとっての  
ハビタブルタウンは  
どんなイメージですか？

ありがとうございました！

私が考える

ハビタブルタウンの居住者は  
Z世帯のPowerCoupleです。

---